194.

全面CR化に向けて 第15報

全面CR化一年をふりかえって —アンケート調査—

大阪府立病院 画像診断科

○三原 一博・船橋 正夫・安部 勝人

(Kazuhiro Mihara) (Masao Funahashi) (Katsuhito Abe)

魚谷 宗司・小林 斉雄

(Souji Uotani) (Seio Kobayashi)

〔緒言〕

当科は、'87年9月以来一般撮影部門すべてとX線テレビ検査の一部をCR化させて、すでに一年が過ぎた。この間の臨床例数は、一般撮影部門の件数が33,604件、消化器撮影部門は2,646件であり、総撮影枚数は71,731枚であった。当院のCRシステムに関してはすでに報告したが、CR装置間に完全なバックアップ体制を取るならば、従来のスクリーンフィルムシステムにかわってCR化が可能であることを、上記の数字と、一年の実績が証明した。しかしこの結果は、検査の処理能力に関する評価であり、けっして臨床上的評価を示していない。そこで今回、一年の区切りとしてFCR画像に対する臨床上的評価を調べるために、当院の臨床にたずさわる医師を対象にアンケート調査を実施した。

〔アンケート対象者および回収率〕

今回のアンケート対象者は、画像診断科の医師を除いた診療にたずさわる医師、レジデントおよび研修医を対象に、130名に対して実施した。その内アンケート用紙は92部を回収した。回収率は70.8%であった。回答を得た医師の経験年数の内訳は、研修医6名、レジデント13名、2-5年未満12名、5-10年未満19名、10年以上34名、不明8名であった。

〔アンケートの内容および結果〕

I. FCRの画像は従来のX線写真と比べて

1) 画質は従来と比較して 回答者91名

1. 見やすい 72名 (79.1%)
2. 変わらない 11名 (12.1%)
3. 見にくい 8名 (8.8%)

2) サイズが小さいことが支障になるか 回答者91名

1. 支障ない 27名 (29.7%)
2. たまに支障になるものもある 44名 (48.3%)
3. 支障ある 20名 (22.0%)

4) 2画像必要か 回答者91名

1. 必要である 27名 (29.7%)
2. あれば便利 60名 (65.9%)
3. 不要 4名 (4.4%)

3) サイズごとに縮小率が

異なるが特に支障はないか 回答者84名

1. 支障ない 42名 (50.0%)
2. たまに支障になるものもある 29名 (34.5%)
3. 支障ある 13名 (15.5%)

5) FCRになり画像の読み方が変わったか 回答者91名

1. 変わらない 56名 (61.5%)
2. 少し変わった 32名 (35.2%)
3. 全く変わった 3名 (3.3%)

II. FCRは画像処理を附していますが、現状の出力画像についてお答え下さい。

部位ごとに記しますので、読影されている部位についてのみお答え下さい。

- 1) 胸部(肺) 1. 左右画像とも満足している。 2. 1画像で十分 3. もう少し工夫を 4. 不満

この質問は、13の検査部位について同様に実施した(別表参照)。

III. FCRにしたことによって

- 1) よく見えるようになったと思われる症例が有りましたか。(コメント)
- 2) 見えにくくなった症例が有りましたか。(コメント)
- 3) 特に問題となった症例がありましたか。(コメント)

IV. どのような部位にFCRが有効と思われますか。(コメント)

V. 全体としてFCRシステムをどう思われますか。

良い59名(64.1%)、悪い2名(2.2%)、普通11名(12.0%)、よくわからない14名(15.2%)、無回答6名(6.5%)

III., IV. に関しては回答者ごとの詳しいコメントを得た。また、I., II., V. についても詳しいコメントを得たが紙面の都合で割愛する。

詳細は府立病院医学雑誌に投稿中

検査項目別に見たFCR画像の評価

表1

検査項目	FCR画像の評価					回答者総数
	左右画像とも満足	1画像で十分	もう少し工夫を	不満足		
胸部(肺)	59 (75.7%)	11 (14.1%)	5 (6.4%)	3 (3.8%)		78
胸部(心臓)	56 (87.5%)	7 (10.9%)	1 (1.6%)	0 (0%)		64
胸部(食道)	53 (75.7%)	10 (14.3%)	6 (8.6%)	1 (1.4%)		70
胸部(胃)	32 (80%)	8 (20%)	0 (0%)	0 (0%)		40
腹部(肝臓)	53 (75.7%)	16 (22.9%)	0 (0%)	1 (1.4%)		70
腹部(膵臓)	16 (64%)	6 (24%)	3 (12%)	0 (0%)		25
骨盤(骨)	18 (64.3%)	9 (32.1%)	1 (3.6%)	0 (0%)		28
骨盤(軟部)	28 (77.8%)	4 (11.1%)	2 (5.6%)	2 (5.6%)		36
骨盤(腸)	17 (85%)	2 (10%)	1 (5%)	0 (0%)		20
骨盤(膀胱)	23 (67.7%)	7 (20.6%)	2 (5.9%)	2 (5.9%)		34
四肢(骨)	26 (72.2%)	7 (19.4%)	2 (5.6%)	1 (2.8%)		36
四肢(軟部)	30 (79.0%)	6 (15.8%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)		38
軟部(乳房等)	12 (85.7%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	0 (0%)		14

(数値は、回答者数、および%は回答者総数に対する割合を示す。)